

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和 6年 1月 ●日

事業所名:こすもす園

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・自由遊びの部屋・学習の部屋など、適切な広さの複数の部屋を用意することで確保している	(ご意見なし)	・利用人数や利用児の特性に応じて、2階を利用するなど、随時必要なスペースや空間を検討、確保していく
	2	職員の適切な配置	・放課後等デイサービスごとに十分な配置をしている ・新規利用者や新一年生に対しては通常よりも多くの職員配置での対応をしている	・送迎のスタッフは運転される方一人です ・脱走などする子がいないのであれば良いですが、大丈夫なのかなと思うことはあります	・児童10人に対し指導員2人という国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行い、児童、福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に務めている ・送迎時に安全を確保できない場合は、添乗スタッフを配置し、安心安全な送迎サービスができるよう努力する
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・場所と活動内容の対応や、見通しが持ちやすいような配置、構造化などに取り組んでいる ・言葉での指示より、イラストカードなどでの視覚支援を増やすよう取り組んでいる	・古民家で運営されているのでバリアフリーではないです ただ、階段のところにはゲートが取り付けられています	・利用児の移動がスムーズに行え、わかりやすい活動スペースになるよう今後も特性に配慮した設備整備を行っていく
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・清掃:毎日行っている ・昼食やおやつなどの前、屋外から屋内に入ってきたときなどは手洗いや手指の消毒を徹底している	・古民家なので清潔かどうかは分かりません	・毎日の清掃・消毒を徹底していき、利用児に合わせて過ごしやすい空間の確保を日々考えながらいく
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・日々の活動内容や、利用者ごとの支援方法などは、毎日の反省会で振り返り、次回の支援に役立てるよう改善方法を話し合っている (パート職員にも積極的に意見を聞いている)		
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・別事業所の職員と合同カンファレンスなどを行い、当事業所の取り組みについても意見をいただいている ・別事業所からの見学やボランティアで意見を頂戴している		
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・グループ内研修を行ったり、外部の研修にオンラインで参加するなどしている。		

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・個別支援計画書を作成する際、面談で保護者様のニーズを聞き取った上で、職員間で子どもの課題や支援方法について検討する会議を持っている	(ご意見なし)	・様々な職員による多角的な視点によるアセスメントを行い、利用児や家族のニーズを把握し、その内容を計画に反映させていく
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・利用者の特性に応じて、個別活動で取り組む内容(学習・支度など)と集団行動で取り組む内容(コミュニケーション面)それぞれの課題を設定した計画書を作成している		・利用児の特性に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせながら支援していく
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・支援課題及び支援方法について、具体的なものを設定・記載できているか、管理者が確認した上で作成している	(ご意見なし)	・ポータープログラムや太田ステージなどを取り入れながら、必要に応じて、発達検査の結果をお持ちいただき、項目の設定などの参考にし、利用者の発達段階にあわせて適切な支援目標を設定していく
適切な支援の提供(続)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・支援計画の作成・更新のたびに、内容を職員間で周知する機会を設けている ・支援計画の内容を踏まえた個別の合理的配慮を活動計画に織り込んでいる	(ご意見なし)	・日々の活動計画書に支援計画の内容を記載し、活動の始まりに職員に周知し、常に支援計画に沿った支援が実施できるように徹底していく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・主に担当となる職員の他、子どもと関わるすべての職員で日頃から意見交換し、プログラムの計画や見直しを行っている	(ご意見なし)	・年間計画でチーム全体で活動プログラムを計画する機会を設け、情報共有や意見交換を大切にしながら活動プログラムを検討していく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・平日・長期休暇とで活動時間を分けている ・学校が長期休暇の場合、宿題の計画を保護者様と共有したり、特別課題を設定して取り組んでいる		・活動時間に合わせて、グループ分けをするなど利用児が楽しい時間を過ごすことができるような配慮を行っていく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・一週ごとにテーマ活動を変えている ・他事業所との会議で、互いの活動のなかで好感触なものを共有し、互いに取り入れている		・季節や活動時間などに合わせて柔軟な活動プログラムを利用児の意見も聞きながら企画し、実施していく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・支援開始前に、プログラム内容や役割分担についての打ち合わせを行っている ・反省点や次日の予定等は、グループLINEで全体に周知するようにしている ・活動終了後に次の日の各職員の動きの確認をしている		・支援内容の事前共有・打ち合わせは徹底し、役割分担などは掲示し意識できるようにしていく

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
さ)	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・支援終了後に反省会を行っており、記録をとっている ・次の日の朝礼で共有したり、LINE等を活用して全体で把握できるように努めている ・特に重要な点については、申し送り用のノートに記載し、共有の漏れがないように徹底している		・引き続き、活動の振り返り・反省会とその情報共有を行っていく
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・日々、支援内容や全体の様子についての記録と、利用者一人ひとりの記録をとっている ・支援方法や課題について新たに意見が出た場合は優先して記述するようにしている		・引き続き、記録の徹底と支援方法の検証・改善に取り組んでいく
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・半年ごとに個別支援計画書を作成・見直ししており、その際、保護者様に詳細な現状報告や半年での変化をお伝えし、ニーズの再確認も行っている		・引き続き、記録の徹底と支援方法の検証・改善に取り組んでいく
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・子どもとよく関わっている現場の職員のほか、児童発達管理責任者や事業所内で発達支援に詳しいものが同行して会議へ参加している		・引き続き、サービス担当者会議への参加を行っていく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・該当者なし		・該当者なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・該当者なし		・該当者なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・就学に際して引き継ぎの会議を行ったり、サポートファイルの作成を協力することがある		・保護者の意向を確認しながら、支援内容等の連携会議を行うなど情報共有を行っていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・該当者なし ・現在まで、学校を卒業して障害福祉サービス事業所等の利用を開始した者がいない		・現在までの該当者はないが、今後そうした利用者がいた場合は情報提供に応じていく
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・児童発達支援センター内の相談支援事業所と、新規利用希望者の情報提供やモニタリング等でよく連絡を取り合っており、併用・移行となった子どもの支援方法について引き継ぎをしている間柄である		・引き続き、地域の児童発達支援センターとの連携を密に行っていく

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・地域の児童館や公園等での活動はよく行っており、その際、当事業所利用でない子どもとの交流を行うことがある	・障害のない子どもとの活動に関してはわからない	・地域の子どもと活動する機会の必要性を意識して、公園や児童館などの利用をすすめていく ・活動ができた際は保護者へお便り等で発信していく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・「三世代交流会」や「加東市ふれあいパラリンピック」に参加している。		・今年度も加東市パラ伝ピックや福祉まつりにも参加することができたので、来年度も引き続き参加していく
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・利用開始時の契約の際、契約の目的や利用者負担等について説明している	(ご意見なし)	・引き続き、契約時の丁寧な説明を行っていく
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・個別支援計画書を作成・見直しをした際は、保護者様へ計画書を提示しつつ、その内容や今後の目的等について説明している	(ご意見なし)	・引き続き、計画書の説明を丁寧に行っていく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・保護者会を定期開催しており、子どもとの関わり方や発達の特性について学ぶ機会を設けている ・また、毎月発行の「こすもす便り」で子育てにまつわるコラムを掲載している	・お茶会とか保護者の交流会があるのでそれが該当するのでしょうか	・毎月の保護者会(女子会)、参観日(お茶会)は継続していく ・女子会は子育ての振り返りや困ったことを共有し保護者同士で話し合い、支援方法を家庭の子育てに活かす ・お茶会は、わが子の成長を確認し、保護者同士で子ども達の成長を共有する
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・送迎などで保護者様に出会う際に、子どもの状況や新たな課題等について話している ・必要に応じて電話・LINE等で状況・課題についてやり取りしている	(ご意見なし)	・引き続き、保護者様との情報共有や共通理解のための報告に努めていき、必要であれば面談を行っていく
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・保護者様から相談があった際は、現場職員や児童発達管理責任者などで検討して相談・助言等対応している ・また、必要に応じて面談の時間を設けるようにしている	(ご意見なし)	・引き続き相談に対応していき、必要に応じて、職員間での相談・検討もしていく
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・月に一回程度、保護者会を行っている ・また、保護者参加での行事・活動も行っており、その際のプログラムには保護者同士の交流を目的とした活動も取り入れている	・わかりません	・引き続き、保護者会を行いながら、参加して頂ける方が増えるようにお誘い方法も工夫していく
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・対応をした職員のほか、現場職員や児童発達管理責任者などが対応をするようにしている	(ご意見なし)	・相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めていく

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・写真や絵カード、文字を活用しながら分かりやすくしている ・連絡帳の記入 ・送迎時に伝える ・必要に応じて面談の場を設ける	(ご意見なし)	・ことばと共に視覚的にわかりやすくなるように写真や絵カードを提示し、視覚支援等を活用してわかりやすく情報伝達していく ・連絡帳またはHUGのサービス提供記録を記入する ・送迎時や電話にて必要事項の伝達を行い、必要に応じて面談を行う
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・毎月「こすもす便り」として、日々の活動等を伝達・発信している ・また、次月の活動内容については、月末に利用予約表としてプログラムを記載したものをお渡ししている	(ご意見なし)	・毎月のこすもす便りと必要に応じて連絡事項等の情報を発信していく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・当事業所でのことは、当事業所職員室内でのみ話すようにしている ・ホームページ内ブログでは、各利用者ごとに写真掲載の可否についてアンケートを取っている	(ご意見なし)	・個人情報の取扱には慎重な対応を徹底していく
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・各種マニュアルを事業所に設置し、職員は目を通してしている ・感染症等で対応に緊急性があるときは、事業所での対応等について書面にしたもの保護者様へ配布し、周知している	・入所時の説明で緊急時の避難場所について質問したところ、その時点では決まっていなかったようでした。私が質問したことにより、避難場所をきめていただけたようです	・引き続き、利用者・職員へのマニュアルの周知を徹底していく
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・定期的な避難訓練を実施している(年3回 火災、震災の想定で訓練している)	・訓練が行われているのかわからない	・お便りで事前に避難訓練の日をお知らせし、今後も定期的な訓練を行っていく
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・外部での虐待防止に関する研修に参加し、参加した職員から研修発表という形で職員間で共有している ・加東市で毎年開催される虐待防止の啓発セミナーに参加の予定		・定期的に虐待の外部研修に参加し、また、職員同士、日々の療育の中でおかしいと思ったことを言い合える環境作りに努めていく
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・児童の心身の状況に応じて様々なケースを想定して、職員と共通理解している。		・身体拘束については安全を考慮してやむを得ず行う場合について、計画に記入し保護者様の了承を得て行うことになっておりますが、今後行うことになった時は記録に残すようにする
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・医師からの指示書はいただいている ・アレルギーのある子どもに対しては、当事業所からの食物の提供は避け、おやつなどを食べる際には保護者様から預かったその子ども用のおやつを提供している		・アレルギーに関してはご契約時に書面にて保護者様に確認し、アレルギー対応の利用児につきましては、保護者様から預かったおやつでの対応を続けていく
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハット事例集を作成しており、共有・改善に努めている		・引き続き、ヒヤリハット事例について書面で残し、全職員が共有、注意喚起していく